

# シブヤクを、マシカ区に！街全体がピクセルアートだらけに！ SHIBUYA PIXEL ART 2017開催決定！

～LINE FRIENDS STORE原宿や渋谷ロフトもピクセルに！～

2017年7月16日(日)～7月31日(月)の16日間開催

SHIBUYA PIXEL ART実行委員会は、2017年7月16日(日)～7月31日(月)の16日間、渋谷・原宿・表参道界隈で、ピクセルアートの祭典「SHIBUYA PIXEL ART 2017」(以下、SHIBUYA PIXEL ART)を開催することとなりました。



「SHIBUYA PIXEL ART」は、「シブヤクを、マシカ区に」をスローガンに、渋谷区の基本構想にある「あらたな文化を生みつづける街/エンターテインメント・シティ構想」の実現を目指した、アートイベントです。かつては、Bit Valley(ビットバレー)と呼ばれた渋谷を舞台に、1980年代以降(ファミコン世代)のアートシーンやファッション、カルチャーにスポットを当て、多様化する現在のクリエイターの「表現の場」、「実験の場」として開催されます。

会期中は、国内外で活躍する8人のアーティストが七福神ならぬ「SHIBUYA 八福神」を描き、それらが街のいらたるところにピクセルアートとして展開されます。参加者は、渋谷駅と原宿駅を八の字に描く「SHIBUYA 八福神」をまわり、御朱印帳にスタンプやアーティストのサインを集めながら、街歩きとアートラリーを楽しむことができます。

今回、7月16日(日)の開催に先駆け、「SHIBUYA 八福神」の巡礼スポットのひとつであるLINE FRIENDS STORE 原宿が、7月1日(土)からショーウィンドウやウォールをピクセルラッピング。LINE FRIENDSのブラウンやコニーなどのキャラクターがマシカクに変身します。また、渋谷ロフトでは、7月19日(水)から1階の間坂ステージで「ピクセル祭り」を開催。ぜひこの機会に、お立ち寄りください。

## ----- 【 SHIBUYA PIXEL ART 2017 開催概要 】 -----

タイトル : SHIBUYA PIXEL ART 2017

開催日時 : 2017年7月16日(日)～7月31日(月)  
※各施設の開場時間は、公式ホームページ (<http://pixel-art.jp>) をご覧ください。

開催会場 : 渋谷駅前青ガエル観光案内所、マークシティ4階クリエイションスクエアしづや、渋谷ロフト、渋谷キャスト、Wonder Photo Shop 原宿、LINE FRINDES STORE 原宿など計13カ所以上

プログラム : ①八福神アートラリー  
②アート体験イベント  
③ピクセルアートコンテスト  
※イベントプログラムの詳細は、公式ホームページ (<http://pixel-art.jp>) をご覧ください。

主催 : SHIBUYA PIXEL ART実行委員会

【本件に関するお問い合わせ先】

SHIBUYA PIXEL ART実行委員会 担当: 坂口・ひらい

TEL : 03-6896-3611 / FAX : 03-6892-4041 / MAIL : [contact@360channel.jp](mailto:contact@360channel.jp)

## ■本イベント参加アーティスト一覧



### ●Ban8ku (バンパク)

ゲームの表現方法である「ドット絵」を専門にアートビジュアル、デザイン、グラフィックなどの分野で活動する。2013年にキシモトシュウジ (デザイナー) により発足。主な活動として、新型Vitzキャンペーン「Is This Vitz?」アートビジュアル、TOKYOGAMESHOW公式物販デザインなど。「ドット絵こねこ」というキャラクターをデザインし、現在グッズなども展開中。



### ●キタイシンイチロウ

デザインチーム [DEVILROBOTS] 代表。グラフィック、キャラクター、イラスト、映像、WEB、音楽、グッズの企画・デザイン・制作を手がける。「cuteness and blackness」をコンセプトにアートワークを展開。代表作は「トーフ親子」。Disney、NHK、Sanrio、ガチャピン&ムック、タツノコプロ、日本アニメ、円谷プロ等のリデザインなど幅広く手掛ける。



### ●ムライタケシ

デザイン企画会社「グリーンルーム」代表。絵本、キャラクターデザイン、プロデュースなど、キャラクター制作とイベント販売を中心に多岐に渡り活動をしている。サンリオで唯一オリジナルキャラクターで契約しているキャラクター作家・絵本作家。代表作「フラッフィー・パプール」。

### ●きはらようすけ

ケロケロキング 代表。キャラクター、イラスト、ゲームデザイン、アニメーション、音楽、あみぐるみ制作などを手がける。代表作はボンキッキーズ! (フジテレビ) の「ゴー! ゴー! コニーちゃん!」最近では編みぐるみを使ったアニメーション制作に力をいれウサギとクマのウクレレデュオ「U900 (ユーキューヒャク)」やウルトラ怪獣ロックバンド「ガラモーンズ」などを制作。



### ●大塚いちお



イラストレーター・アートディレクター。イラストレーターとして広告やパッケージ、アートディレクターとしてテレビ番組のキャラクターデザイン・衣装・セット・タイトルロゴなど幅広く手掛ける。NHK Eテレ「みつけた!」のアートディレクションを担当。Jリーグ川崎フロンターレのファミリーアートディレクターとして、グッズやイベント関係のデザインを担当し、2015年シーズンユニフォームをデザイン。2005年東京ADC賞受賞、その他カンヌライオンズや D&AD awards など海外の受賞も多数。

### ●森チャック

1995年から漫画家、商業イラストレーターを経て、キュートなキャラクターの裏に独自のユーモアセンスで世の中の矛盾や問題を巧妙に潜ませたシリーズ「チャック (チャックス)」を2000年よりスタート。代表作は「いたずらぐまのグル〜ミ〜 (GLOOMY The Naughty Grizzly)」、「クマキカイ」、「がおくんのかわをかぶっためえめえさん (ポドリー)」、「つるしぐま」、「汎用うさぎ」、「はらぺこぎめのスリットギル」他。



### ●絵子猫 (えこねこ)



色使いや独特なタッチで様々なジャンルの作品を生み出す。雑誌の挿絵や人気作家の装丁、イラスト提供を始め、全国百貨店を中心に作品展示会を多数開催。大手ブランドやさまざまな企業の広告やグッズの全国展開、コラボレーション商品などを手掛ける傍ら、「アートでもっと社会貢献」を目指し、学校で講演会や、子供達とのワークショップ等、幅広い分野で活躍中。キキララ、ポケモン、ドラゴンジョなど人気キャラとのコラボも多数。作品集『ECONECO』『ぬりえワンダーランド』出版。

### ●デハラユキノリ

1974年高知県カツオ生まれ、ビール育ち。年間制作フィギュア約300体、飲酒ビール300リットル。東京を拠点にフィギュアイラストレーターとして活動。ナイキ、NEC、タワーレコード、アシックスヨーロッパなどの広告を手がける一方、作家として年間4~6回のペースで個展を行い東京をはじめ台湾・香港・パリ・NY・LAなどで新作を発表している。

